

黄金色の秋！

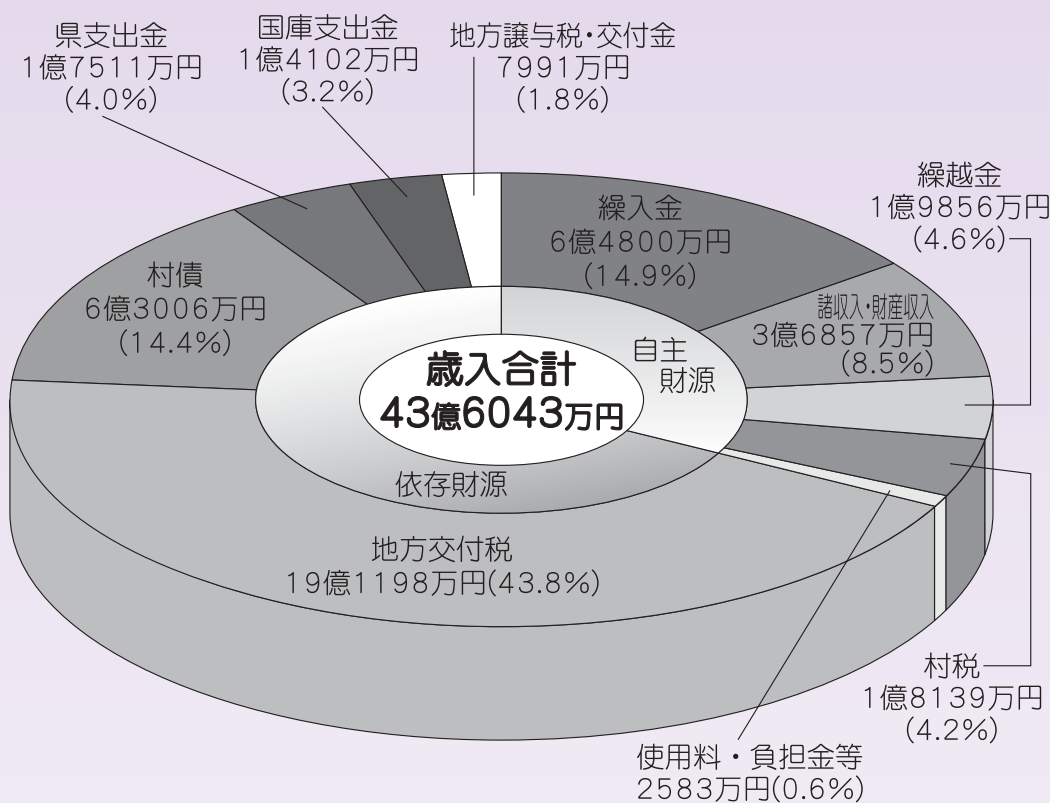
10/5 下田がっけ山から



# の決算を認定

## 決算議会 9月定例会議

一般会計歳入 43億6043万円



9月定例会議は、5日から15日までの11日間の審議期間で開催されました。平成28年度の一般会計・特別会計決算8件、報告2件、人事1件、条例など3件、補正予算7件の合計21件と、議員発議2件を全会一致で原案のとおり、認定・同意・可決しました。

また、2日目には一般質問が行われ、2議員が登壇し村政をただしました。

### ■各会計の決算額

会計名	歳入(収入)	歳出(支出)	差し引き	収入未済額	
一般会計	43億6043万円	42億5186万円	1億857万円	4977万円	
特別会計	国民健康保険(事業勘定)	3億5537万円	3億3443万円	2093万円	680万円
	国民健康保険(直営診療施設勘定)	1億1008万円	1億628万円	380万円	
	後期高齢者医療	2489万円	2316万円	173万円	
	介護保険(保険事業勘定)	3億816万円	3億741万円	75万円	20万円
	介護保険(介護サービス事業勘定)	3億52万円	3億52万円		5万円
	簡易水道事業	5億7058万円	5億6941万円	117万円	117万円
	下水道事業	1億971万円	1億897万円	74万円	122万円
	小計	17億7931万円	17億5018万円	2912万円	944万円
	合計	61億3974万円	60億204万円	1億3769万円	5921万円

※ 金額は表示未満を四捨五入していますので、合計等が一致しない場合があります。

### 平成28年度決算の概要

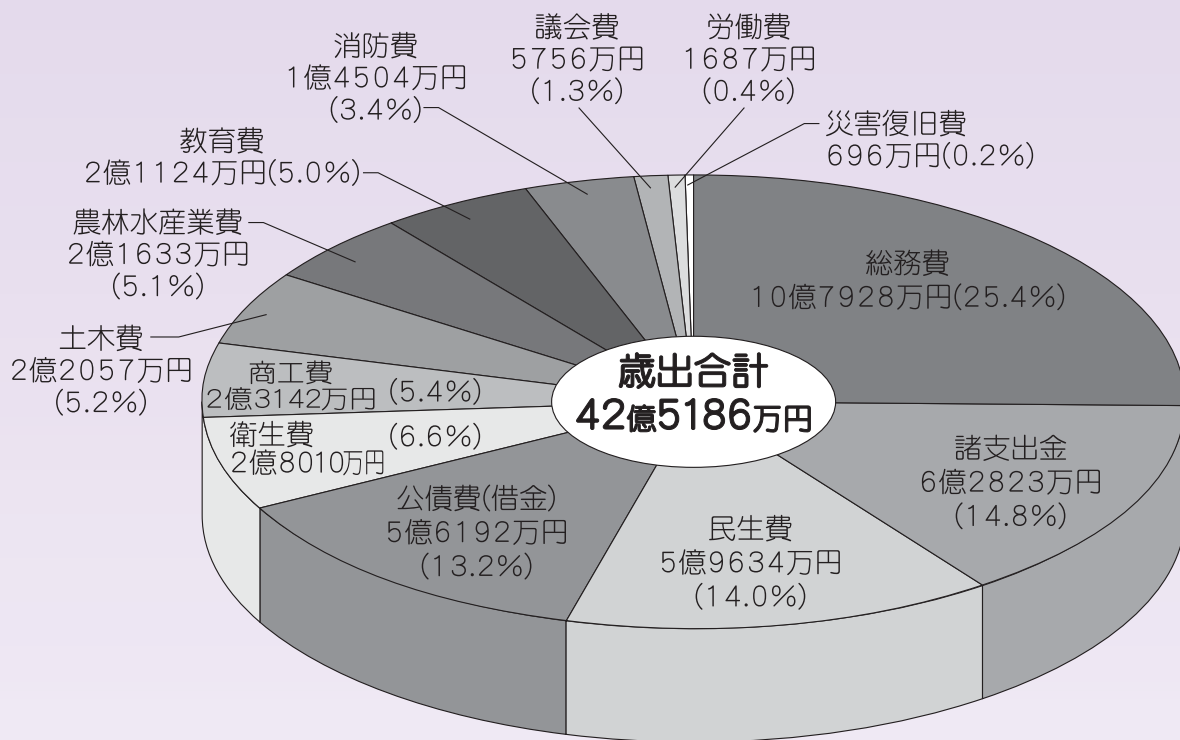
一般会計の決算額は、歳入が43億6043万円、歳出が42億5186万円です。差し引き1億857万円の黒字となり、このうち前年度に繰り越す財源66万円を差し引いた実質収支も1億791万円の黒字になりました。

前年度に対し、歳入が1億9804万円、歳出は1億805万円それぞれ減額となりました。

# 平成28年度 各会計

一般会計歳出 42億5186万円

## 性質別内訳



### ■財政の主要な指数

区分	H26	H27	H28
財政力指数	0.10%	0.10%	0.10%
経常収支比率	89.2%	89.8%	93.4%
公債費負担比率	18.7%	18.9%	17.6%

### ■財政健全化判断比率

区分	H26	H27	H28	基準値	
				早期健全化	財政再生
実質赤字比率	-	-	-	15.0%	20.0%
連結実質赤字比率	-	-	-	20.0%	40.0%
実質公債費比率	8.6%	9.3%	9.8%	25.0%	35.0%
将来負担比率	-	-	-	350.0%	-

地方自治体の財政の健全化や再生を判断するため、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率・将来負担比率の4つの指標を「財政健全化判断比率」といいます。これらの比率は少ないほど健全な状態にあると判断されます。

平成28年度における比率はいずれも良好な数値となっております。

財政健全化比率は良好

# 平成28年度決算審査 有効に使われているか！

歳入

**村税滞納繰越額の増加は**

**質問** どのような方が納めていないのか、どうしても納められない方なのか状況は。

**答弁** リストラにあった、病気になるなどの理由により滞納となっている。

**滞納処分は必要ではないか**

**質問** 納められるのに納めない方への差し押さえなどの考えはあるか。

**答弁** 個別折衝を行い滞納額の減少に努力している。いずれは滞納処分という形で進める方向で検討している。

**貸付先はどこか**

**質問** 土地・建物貸付収入の場所はどこか。

**答弁** 主なものは、成瀬碎石と合居碎石で、このほか成瀬ダム工事関係への村有地貸付が増加している。建物は旧十文字学生寮となっている。

歳出

**【総務費】**

**庁舎改修カメラ設置は**

**質問** 庁舎改修でカメラシステム設置とあるが、どこに設置しどう管理しているのか。

**答弁** 情報セキュリティ対策で役場庁舎、山村開発センター、防災センター、電算室に設置し、役場で管理している。

**ふるさと納税返礼品の今後は**

**質問** 返礼品の価格割合を納税額の3割以下にするよう総務省通知があるようだが、村ではどのように考えているか。

**答弁** 総務省の指導に従いながらやっていきたい。今年度から生のトマトを加えたところ非常に人気が高い状況である。

**秋田未来プロジェクト事業**

**質問** 雪室施設を建設したが誰がどのように使用しているのか。

決算特別委員会 (9月6日)

審査の結果、一般会計と全ての特別会計を「認定すべきもの」

**答弁** なるせ加工研究会がトマトや生野菜、漬物などの貯蔵に、アグリード仙人では春野菜の育苗時高温対策に活用している。

**質問** 雪冷熱等利活用実証業務委託の進行状況は。

**答弁** 仙人ユリの実証業務委託で試験途上である。現在は個体の増殖を行っている。

**仙人ユリ栽培の用途は**

**質問** 実証はどこまで行うのか。球根がどの程度になれば栽培に移っていけるか。

**答弁** 出荷できるレベルは2万ないし3万の個体数がなければならぬと考える。

**循環拠点施設の運営状況は**

**質問** 今年から稼働されEMの設備も入っているようだが、どのように運営されているか。

**答弁** 本格的には4月からくん炭施設を稼働している。EM関係は5月からで、EMの配

達と仕込みを行っている。

**地方創生加速化事業**

**質問** 製作された特産品カタログはどのようなものか。

**答弁** 村の特産品をまとめて一冊の冊子にしたものである。



村の特産品が満載

【衛生費】

検診の受診率低下は

【質問】 がん検診助成事業等で対象者に対し受診者数が少ない理由は。

【答弁】 対象の年齢になっていく方々が働き世代であり職場で受診している。

【質問】 妊婦歯科検診の受診率が急激に低下している原因は。

【答弁】 産休に入ってから受診する方が多いが、身体の負担も大きいことから受診しないケースも増えてきているのが要因と考える。

【労働費】

新規起業等育成支援事業

【質問】 株式会社角右衛門が起業されているが事業内容と雇用者数は。

【答弁】 宮大工の会社で作業所の整備を進めている。現在、雇用者はいない状況である。

新規雇用奨励金の要件

【質問】 支給要件の内、45歳未満の移住・定住者と事業主都合離職者で60歳未満の者の考え方は。

【答弁】 移住・定住者とは、村に住所を移した方で、事業主

離職者とは、リストラにあつた方である。

【土木費】

用地購入費は

【質問】 残土置き場の用地購入は、現在使用している場所か。また何年ぐらい利用できるか。

【答弁】 現在の場所である。今後測量を行い使用できる土量を把握し計画的に利用したい。

積雪環境も同じようだが

【質問】 除雪作業委託料が前年度に比べ400万円ほど増加している要因は何か。

【答弁】 11月の早い時期から3月の遅い時期まで降雪があったことが要因と考える。

【教育費】

芸術文化活動推進事業助成金

【質問】 助成金額が各団体でバラつきがあるが、どのような内容か。

【答弁】 総会時に各構成団体が計画した事業の事業費を基に決定している。



宮大工の育成と地場産業の定着化を図る

【農林水産業費】

ナラ枯れ対策事業

【質問】 ナラ枯れ対策を行っているが少なくともどこか益々目立ってきている。村としての対応は。

【答弁】 県の森林整備事業に村がかさ上げ措置を行うなどの検討を行い更新伐を進めていきたい。

監査委員の決算審査意見

【審査結果】

審査に付された一般会計

及び特別会計の歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書の計数は、それぞれの関係諸帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。

【審査意見】

実質収支は全会計とも黒字決算となっている。なお、一般会計においては基金の取り崩しを行っているものの、それ以上の積立を行っていることから、健全な財政運営に努力した結果がうかがわれる。

しかし、歳入の根幹である村税等の不納欠損処分額の増加や収入未済額が年々増加しその額も多額となつてきている。「税等の公平負担の平等」や「財源確保の観点」から、収納対策を徹底するとともに収入未済額の縮減に努力していただきたい。

また、村のPR等のために各種事業、イベントが実施されているが、情報発信の手段として効果的か検証を行い、その後の実施計画に反映させることが重要である。最小の経費で最大の効果が上げられるよう取り組まれない。

少子高齢化による生産年齢人口の減少により税収の減少や福祉需要の増大など、本村の財政環境は厳しさを増すものと予想されることから、自主財源の確保に努め財政運営の効率と質の向上を目指し、更なる村づくりに邁進していただきたい。

監査委員

吉田 正  
佐々木 悦男



# 9月 定例会議



田子内天神林地区の若者定住促進住宅

## 移住・定住対策

若者定住促進住宅の  
入居資格などを定める条例を制定

## 条例

### ◆制定

#### ○若者定住促進住宅条例

若者定住促進住宅の設置及び管理  
に関して必要な事項を定めるもの。

### 若者定住促進住宅条例（抜粋）

#### （入居者の資格）

- 村内に定住を希望し、かつ、居住するための住宅を必要としている者であること。
- 入居を許可されたときの年齢が45歳未満の者（世帯主及び生計中心者）であること。
- 入居後、定住住宅の所在地を住所地として住民登録ができること。
- 地方税等を滞納していない者であること。
- 入居希望者又は同居しようとする者が、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第6号に規定する暴力団員でないこと。

#### （家賃の決定）

- 定住住宅の家賃は、月額30,000円とする。

#### （敷金）

- 村長は、入居者から入居時における2箇月分の家賃に相当する額の敷金を徴収するものとする。

## 人事

#### ○教育委員会委員の選任

平成29年9月末で任期満了となる  
教育委員会委員の人事案件が提出され、全会一致で選任に同意しました。

#### 教育委員

鈴木 一夫（田子内 66歳）  
※再任

（任期）平成29年10月1日から

平成33年9月30日まで

## 議案質疑

最終日となった15日の議案等に対する主な質疑を要約してお伝えします。

#### ○若者定住促進住宅条例

**質問** 入居者の負担義務として、除雪、流雪溝及び汚水処理施設の使用又は維持、運営に要する費用とあるが、除雪は屋根の雪下ろしも含むのか。

**答弁** 屋根の雪下ろしと下ろした雪も含めて除雪という表現をしている。入居者が決まった段階で管理、負担分を説明する。

**質問** 敷金の管理として、安全確実な方法で管理することになっているが、どのように管理されるのか。

**答弁** 村の一般会計とは別に歳計外の会計で会計管理者が管理する。

# 質 疑 白 熱

## 9月定例会議 予算特別委員会(9月8日)

主な質疑の内容を要約してお知らせします。

歳 入

### 過年度分村営住宅使用料

**質問** 村営住宅使用料の過年度分が増額されているが、何カ月分納めないでいると退去になるなどの規定はあるのか。

**答弁** 3ヶ月以上の未納があった場合は退去の請求ができるよう条例で定めている。

**質問** 連帯保証人がいると思うが、その方から納めてもらうことは出来ないのか。

**答弁** 借主と連帯保証人の間で事情もあり生活相談に応じながら返済方法を考えていく対応もしている。

### 大柳センター使用料

**質問** 使用料は月額いくらで建物全部を貸し出すのか。

**答弁** 2階、3階の2部屋で、一部屋につき4万円。月額8万円となっている。

歳 出

### 本工事費の追加

**質問** ジュネスII改修に伴う財産管理費の本工事費追加は。

**答弁** ジュネスIIの隣にあるスキークラブハウスを役場庁舎後ろへ移設し、倉庫として活用するものである。

**質問** スキークラブのクラブハウスはどうなるのか。

**答弁** スキークラブハウスの機能をジュネスIIの1階部分に内部改装を行い移転するものである。

### 産業祭50周年記念行事

**質問** 50周年記念ということで追加補正されているが内容はどのようなものになるのか。

**答弁** 商工会青年部で企画している栗駒山麗芋煮の陣、タレントの加藤夏希さんのトークショーを実施したいと考えている。

### 林道の災害状況

**質問** 林道10路線で豪雨による災害が発生しているが、通行止めとなっている箇所はあるか。

**答弁** 大字田子内地区に被害が集中している。碎石が流れるなど通行に支障はあるが、通行止めの路線はない。

### スノーボード5大会の経費は

**質問** スノーボード大会への助成費の内容は。

**答弁** 大会経費647万円から参加者負担金、スキー連盟補助金を除いた不足分250万円を助成するもので、保険料、公認料などの大会経費となっている。

**質問** 全日本スキー連盟などの大きな大会が開催されるが、村民に周知が必要ではないか。

**答弁** 村民の方々に多く見ていただくようPR活動もやっていきたい。

### 観光費の交流事業は

**質問** 観光物産協会補助金追加は被災地との交流事業とのことだがどのような内容か。

**答弁** 東日本大震災以来交流を続けているもので、今年は宮城県名取市の方々に申し込みをとることにしている。

### 29年度一般会計補正予算(第3号)の主なもの

歳 入	
○村税	
個人村民税の増	347万円
法人民税の増	400万円
固定資産税の増	673万円
○地方交付税	
普通交付税の減	▲260万円
○諸収入	
奨学金貸付収入の増	183万円
○繰越金	
前年度繰越金の増	10790万円
○村債	
臨時財政対策債の減	▲952万円
歳 出	
○総務費	
本工事費の追加(旧スキークラブハウス)	200万円
○農林水産業費	
イベント企画等委託料(産業祭50回記念事業)	175万円
○商工費	
村観光物産協会補助金の追加	140万円
○教育費	
修繕料の追加(暖房機器集中制御盤)	100万円
消耗品費追加(スノーボード競技関係)	250万円
スノーボード大会開催助成金	250万円
○諸支出金	
財政調整基金積立金の追加	4000万円

※補正額が100万円以上のものを抜粋

佐々木 正 利 議員

## 生ゴミ堆肥化事業の今後は

村長 引き続き継続したい



**質問** 村では「生」ゴミ堆肥化事業を進め、生」ゴミの資源化・減量化を図り、対外的には視察もあり大変評価されている。この事業は以前、村長の施策として継続する答弁があったようですし、現在参加している200戸以上の方々も望んでいる。この事業の今後について意向を伺う。

**村長** 先月末現在266戸の家庭からご協力をいただいております。平成28年度の生」ゴミの収集量は50トン、肥料の生産量は約10トンとなっております。各家庭からは「生」ゴミを減らすことに貢献できている「有機肥料のため安全な野菜作りができる」といったことで、引き続きこの事業は今後も協力する家庭を増やしながらか、継続していきたい。



各家庭から生ゴミを回収し肥料へ

**質問** 昨年、現在の農地管理者に農用地の将来像、10年から15年後の調査依頼があった。この結果について教えていただきたい。これを村としてどのように生かしていく考えか。

### 農用地の調査結果は

**村長** どの集落協定においても今後の農地管理者が思う将来像には、ばらつきがみられた。引き続き耕作していくという意思を持つ方、農地中間管理機構への貸し付けを含めた担い手等に委託を希望する方もあった。全体的傾向としては、委託を志向する割合が多い結果となった。村としては、この集落戦略の結果を踏まえて、農業総合指導センター会議等の場で次年度以降の対策に向け、慎重に議論を重ねていきたい。

### 受託面積を増やすことは可能か

**質問** 村内に4つの農業法人が設立され、年々その受託面積が増えている。農家の要望に沿い、今以上に各農業法人が受託面積を増やすことが可能か。

**村長** 今現在、農業法人自体が抱えている条件の悪い農地の扱い、委託を希望する農地の作業条件、30年産以降の米政策の変更に伴う経営への影響を踏まえた追加設備投資

等、総合的な判断になるだろうと考えている。

### 農家への補助ができないか

**質問** 農作業の一部について委託を希望する方もあるが、それを受託する農家が減少してきている。ある一定規模の作業受託している農家に補助することにより、村の稲作を守り、農地の荒廃を防ぐことになると思うがいかがか。

**村長** 稲作経営に対しては補助対象が限定されている。農業指導センターでは、次年度の国県補助事業の制度内容を見ながら、対応することのできない隙間の対策も検討していかなければならないだろう。農地の荒廃を防止するための中山間地域等直接支払制度や多面的機能支払交付金制度、それに村単独事業を組み合わせた総合的な対策について検討してまいりたい。





佐々木 悦 男 議員

## 村税等の未納金回収対策

村長 庁舎内関係担当が連携し対応

**質問** 村税、国保税、奨学金、住宅使用料、水道料、浄化槽使用料等の未納金が増加傾向にある。また、不納欠損金も年々増加し、村に与える影響も大きくなっている。担当課はもろろん役場全庁的な対策を考えているか。

**村長** 決算委員会等でも質問を受けており、村税等の徴収については、村財政の大切な財源であり、公平に皆さんからご負担願うことを大前提に作業をしている。

不納欠損金が増えつつある現状は憂慮すべき事態であり、個別徴収、面接で対象家庭の方々と良く話し合い分割納入等でもお願いしている。庁舎内各担当課が連携し平等に納付していただくよう努力している。

**再問** 業務の引き継ぎや報告のために回収記録、対応記録等の整備はなされているか。また、面談、回収は不祥事防止の点から複数人で行っているか。

**村長** 記録は担当課でしっかりと整備しており、単独での徴収は事故につながり得るわけで絶対有り得ません。担当と綿密な打ち合わせの上この事務にあたっていききたいと思う。

### 個人農業者への支援

**質問** 村では、農業法人に対し他市町村にない手厚い補助・支援を行い、農業維持に頑張っているが、個人で農業経営を維持し、委託された水田、畑を守っている人も多くいる。農業法人と個人農業者を合わせて村全体の農業が成り立ち、美しい村の景観維持につながると思う。個人で頑張る認定農業者等への支援として、規模拡大や機械購入時の補助等の支援策が必要ではないか。

**村長** 今後委託する面積が増えることを考えると、受託農家に対する助成制度については、色んな対応を個人単体で整備するのではなく、組織作りや連携した形で方策の相談を農業指導センター等を通じ

ながら進めていく方針で、農地の荒廃を防ぐ対策を取っていききたい。

日本型直接支払制度を組み合わせた農地の景観維持にも資するよう最大限の努力をし、あらゆる手立てができるよう検討を加えていきたい。



高額な農業機械 個人農業者への支援は

# 請願・陳情

9月定例会議に1件の陳情が提出され、所管する常任委員会に付託し審査の結果、採択すべきものとし、要請に基づき意見書を提出することに決定しました。

## 採択とした陳情

○「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情  
 (陳情者) 全国森林環境税創設促進議員連盟  
 会長 板垣 一徳

## 9月定例会議議決事項名

秋田栗駒リゾート株式会社の経営状況を説明する書類の提出
平成28年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告
教育委員会委員の選任
過疎地域自立促進計画の変更
若者定住促進住宅条例
湯沢雄勝広域市町村圏組合の共同処理する事務及び規約の変更
平成29年度一般会計補正予算(第3号)
平成29年度国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第2号)
平成29年度国民健康保険特別会計(直営診療施設勘定)補正予算(第1号)
平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
平成29年度介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第1号)
平成29年度簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)
平成29年度下水道事業特別会計補正予算(第2号)
平成28年度一般会計歳入歳出決算認定
平成28年度国民健康保険特別会計(事業勘定)歳入歳出決算認定
平成28年度国民健康保険特別会計(直営診療施設勘定)歳入歳出決算認定
平成28年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定
平成28年度介護保険特別会計(保険事業勘定)歳入歳出決算認定
平成28年度介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)歳入歳出決算認定
平成28年度簡易水道事業特別会計決算認定
平成28年度下水道事業特別会計決算認定

# 議会の動き



## 町村議会議員研修会

8月1日、秋田市で県内町村議会議員を対象にした議員研修会(主催:県町村議会議長会)が開催され参加しました。



## 議会全員協議会

7月20日、議会全員協議会を開催し、秋田栗駒リゾート株式会社の経営状況について皆川常務取締役と佐々木取締役部長から報告を受けました。

議員からは、各事業のサービス提供と来客数増加に向けた体制づくりなどについて質問がありました。

# 委員会活動

平良地区  
排水側溝整備



大柳地区  
水路取水移設



## 常任委員会村内視察

7月20日、総務教育民生常任委員会と産業建設常任委員会で、各地区から提出された新規要望事項について現地を視察し、各地区役員から要望事項の説明を受けました。



菅原 常務



富田 氏

## 産業建設常任委員会

9月12日、産業建設常任委員会を開催し、長倉牧場に放牧された牛3頭が相次いで死亡した件を受け、公共牧場の管理についての調査を行いました。

当日は、指定管理者である赤べこ仙人ファームの菅原茂範常務と、放牧を行った生産者の富田富男氏を参考人として招き、状況の説明を受けた後に長倉牧場の現地を確認しました。



## 議会広報研修会

8月1日、秋田市で県内町村議会を対象とした議会広報の研修会（主催：県町村議会議長会）が開催され、本議会からは議会広報対策特別委員会委員が参加しました。



## 総務教育民生常任委員会

9月12日、総務教育民生常任委員会を開催し、6月定例会議の一般質問で行った「合併処理浄化槽の再設置工事」について、経緯や原因などの調査を行いました。



# 視察レポート

議会では7月4日から6日にかけて、常任委員会合同により先進地行政視察を実施した。

総務教育民生常任委員会では「国民健康保険<sup>すえ</sup>陶病院の運営」を、産業建設常任委員会では「土佐あかうしの生産振興」を主な調査事項として、その先進事例を学んだ。

## 地域に根差した医療機関 香川県綾川町 総務教育民生常任委員会

香川県の綾川町国民健康保険陶<sup>すえ</sup>病院は町立で、医療・保健福祉、介護の連携による地域包括ケアに積極的に取り組んでおり、住民の身近な医療機関として50年以上の歴史を持つ国民健康保険の直営診療施設を視察した。

### 陶<sup>すえ</sup>病院の歴史

昭和26年陶<sup>すえ</sup>村国民健康保険陶<sup>すえ</sup>診療所として開設。その後、昭和29年と平成18年の町村合併を経て綾川町国民健康保険陶<sup>すえ</sup>病院となる。この間、平成16年4月には藤井町長、町議会、関係者の英断により十瓶山<sup>とくめやま</sup>の麓に新築移転され、外来、入院ともプライバシー、利便性に配慮され、電子カルテや最新の医療機器の導入により小規模病院ながら質の高い医療が提供できる体制が整った。

### 陶<sup>すえ</sup>病院の概要

敷地面積 17,298.35㎡  
建物構造 鉄筋コンクリート造  
地上2階、地下1階、塔屋1棟  
診療科目 内科、小児科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、透析内科、腎臓内科、老年内科、リハビリテーション科  
外来受付 月・火・木・金曜日  
午前 8:00～11:30  
午後 1:00～ 5:30  
水・土曜日  
午前 8:00～12:00

### 保健・福祉活動の拠点

併設施設には、国保保健福祉総合施設「えがお」があり、町の保健福祉課保健部門、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、老人介護支援センター、社会福祉協議会訪問介護事業所、病児保育室が集まっており、それぞれが病院と密接に連携をとり事業を進めていた。さらには、平成21年に介護老人保健施設「あやがわ」が開設され病院との連携のもと、高齢者介護の充実・強化が図られていた。



国民健康保険陶病院



大原昌樹院長からの説明

医療・福祉に関するサービスが同一敷地内で受けられる体制と、医療・保健・福祉のより良い連携により、住民が住み慣れた地域で安心して暮らせる理想的なシステムが構築されていた。

# 日本でここだけの和牛 高知県土佐町

## 産業建設常任委員会

高知県内のみで繁殖・肥育を行っている土佐あかうしの生産振興と家畜排せつ物の有効活用の取り組みを視察した。

### 土佐あかうし

土佐あかうしは、<sup>あか</sup>褐毛和種高知系の品種で、日本の肉用牛である和牛4品種（黒毛和種、<sup>あか</sup>褐毛和種、日本短角種、無角和種）のうち、高知県だけで生産される和牛である。

全国的にも珍しい<sup>あか</sup>褐毛の和牛で、明治時代から長い年月をかけ改良が重ねられた高知で生まれ、高知で育った100%高知県産の幻の和牛である。



赤身とサシのバランスが良い土佐あかうし

### 土佐あかうし畜産基地

平成28年度、土佐あかうしは高知県全体で1,810頭しかおらず、そのうち689頭が土佐町で飼育されていた。年間600~700頭しか流通されない貴重な品種だが、近年の健康志向の高まりから赤身が注目され需要が増加している。

町では頭数が少ないため十分な出荷ができないことから平成27年度に「土佐あかうし畜産基地」を整備し、安定供給を目指した取り組みが行われていた。



土佐あかうし畜産基地 経営規模は400頭

### 土佐あかうし生産振興補助金

土佐<sup>あか</sup>褐毛和種の生産振興、飼養農家支援及び地域商品券の流通による町内商店の活性化を図るため、土佐<sup>あか</sup>褐毛和種の子牛（生後6カ月齢以上12カ月齢未満）を販売した生産者に対し販売価格の10%以内で補助金を交付し増頭への支援を行っていた。

### 堆肥センター

平成10年、畜産農家による牛糞の野積み問題が住民の間で表面化し、町への要望により建設され、平成12年7月から堆肥の製品化を行っている。

堆肥製造設備は、ハザカプラント方式を採用し、原材料として牛糞を主とし生ゴミやもみ殻、柚子皮などを使用している。

品質は弱アルカリ性土質で塩基分、電気伝導率が少ない。生産量は年間約2,000トンで月々150~180トン生産される。

運営は土佐町酪農業協同組合に管理委託し、販売はJAを通して地元の農家へ供給されている。販売価格は40ℓ入り袋で250円。このほかバラ堆肥としても販売している。



畜産業から出る廃棄物を利用し肥料を製造

あかうしのPR用動画は、解りやすく参考になった。需要と供給のバランスから町民にもなかなか手に入らない状況は本村と同様の課題であるが、畜産基地で増頭した一部を保留し、「来て・食べ・買ってもらう」体制づくりを整備する計画があった。



小学生の頃のイメージと違い、優しい佐藤館長でした

# この人に聞きたい

## かほ KahOの突撃

いんたびゅう

今回は、この4月からなるせ児童館の館長として着任された佐藤寿春氏にインタビューしてみました。

- かほ** 岩井川小学校2・3年生のとき居たと思うんですけど、2年間岩井川小学校にお世話になりました。こんなに大きくなっちゃって。
- 佐藤** なんかバスケのイメージが強くて、正直怖い印象があるんですけど・・・
- かほ** でしょ！もうそれしかないらしくて、みんな中学校のときの怖いイメージが強く、実は私も困ってるんですよ。
- 佐藤** 学生時代にバスケットをやっていたんですか？
- かほ** 自分では小・中学校までやって、教職員になってから教えるようになりました。その間、審判の資格も取って、もう全国大会の公認審判も持ってます。
- 佐藤** バスケの話題になっちゃいましたけど、出身・年齢・家族構成をお願いします。
- かほ** 住所は湯沢市八幡で、歳は61歳、妻と一人暮らしです。子供は3人姉妹で、末っ子以外は教師として働いていて、妻も三梨小にいます。
- 佐藤** すごーい！教師一家ですね。私も合せて運良く教師になることができました。偶然です！
- かほ** 趣味とか夢中になっっていることありますか。
- 佐藤** バスケットが私にとっては一つのものでしたが、今は妻と野菜づくりをしています。二人で野菜の生長をみながら収穫し食卓で楽しんでいます。
- かほ** 児童館に来る子ども達に勉強を教えたりするんですか。
- 佐藤** 教えるというより学習を見守って、励ましてやるという立場で見させていただいております。
- かほ** 村の印象をお願いします。
- 佐藤** 東成瀬村の人は心やさしいです。「ほんわか」した感じ。子ども達は表面では優しさがあるんですが、芯がしっかりしていて努力家が多いです。
- かほ** 最後に児童館のPRをお願いします。
- 佐藤** 子育ての手伝いと親支援の場として皆さんに気軽に利用していただきたいし、児童館の中に図書館があるのは東成瀬村の特徴です。児童館に来て、図書館で本を借りてほしいです。
- かほ** お忙しいところありがとうございます！

## 暫時休憩

さんじ きゆうけい

▼例年より稲刈りが一週間以上も遅いようである。春先の低温、日照不足の影響か、作柄は、平年並みと発表。果たしてどうか。

▼9月、ねんりんピックが秋田県を会場に開かれた。私たちの村では、パークゴルフ大会が開催され、全国から沢山の選手にお出でいただいた。これを機会に村を知っていただき、又、訪れていただく事を願いたい。選手、そして大会に携わって下さった皆様、大変お疲れ様でした。

▼気象庁が12月～2月までの天気予報を発表した。今冬は、北海道・東北が暖冬で、積雪が平年並みか少ない見込みとされている。雪国に暮らす私たちにとっては、大変嬉しい限りである。まもなく、そんな季節が。まずは、元気で毎日を乗り越えたい。

(原稿執筆と、発行にズレがあるので悪しからず)

(委員・佐々木謙吉)